

会議録

会議の名称	第5回西東京市放課後子供教室あり方検討委員会
開催日時	令和7年10月27日（月）午前10時00分から午前11時30分まで
開催場所	田無第二庁舎3階会議室
出席者	委員：川原委員、新濱委員、河野委員、渡辺委員、飯海委員、小松委員、 門倉委員、福所委員、飯島委員 事務局：早川地域学習推進担当部長、横川地域学校連携係長、鬼頭地域学習推進係長、 齋藤主事、野田主事、上加世田主事
議題	(1) 調布市視察の振り返りについて (2) 西東京市放課後子供教室あり方検討委員会中間まとめについて
配付資料	資料1 調布市視察に関する質問事項と回答 資料2 放課後子供教室事業補助金 概要 資料3 西東京市放課後子供教室のあり方検討委員会 中間報告（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

議題（1） 調布市視察の振り返りについて

- 事務局より、資料1「調布市視察に関する質問事項と回答」に沿って説明。
- 座長 : 調布市視察参加委員から改めて感想の共有をお願いしたい。不参加だった委員からも意見をいただきたい。
- 委員 : 学童クラブの感覚に近く、活動拠点となる場所があり、本市の放課後子供教室との違いを感じた。学童クラブと同一事業者運営に委託しており、合理的だと思った。日によっては、1教室の中に70名ほど参加があるということで、スペースの問題を感じた。当市で実施する上でも懸念材料である。学校によっては活動拠点となる教室の確保に課題があるとも思われる。
- 委員 : 調布市では学童クラブの待機児童が60名ほどおり、放課後子供教室「あそびバ」は、学童クラブ待機児童を補っているように見受けられた。活動拠点となる場所があることで利用しやすさがあるのではないかと思う。
- 委員 : 学童クラブ、児童館、放課後子供教室の制度が分かりやすく示されており、各家庭のライフスタイルに合わせて選択できることや、全ての学校で放課後の居場所が確保されており、学校によって差が生じないところも魅力を感じた。
- 委員 : 視察先の学校では特別支援学級の教室を利用していたが、当市においては拠点場所が固定できない懸念がある。配慮が必要な児童にとっては、日ごとに拠点場所が変わると不安になる恐れがある。その点も慎重に進めていきたい。
- 委員 : 市長部局に移管をしたことで、学校施設を利用する調整に苦慮していると伺った。本市では学校との連携など、教育委員会が所管しているメリットを活かして検討を続けてい

きたい。

- 委員 : 現在担当している放課後教室においては、子どもの所在確認と学童クラブとの連携を密に実施している。人材の確保や入退室管理システムが安定して導入されれば、調布市と同様の形で実施可能だと思う。調布市の放課後子供教室は学童クラブに近いイメージを持ったので、他校の子や親子が遊びに来づらくなってしまったと感じた。
- 座長 : 調布市の放課後子供教室は単に見守りをするのではなく、子どもたちがしたいと思った意見を実施する場であると捉えているということだった。子どもたちの意思によって選択でき、子どもたちの意思を叶える場所として放課後子供教室を実施しているとのことで感心した。
- 座長 : ご意見いただき感謝する。  
今後も放課後子供教室を実施するにあたり、財源の確保の必要があると思うが、その点において事務局から説明をお願いしたい。
- 事務局より、資料2「放課後子供教室事業補助金 概要」に沿って説明。
- 座長 : 放課後子供教室事業補助金の説明を受けて、補助要件に合わせて実施していかなければならないと理解した。委員の皆さんから気づいた点等あれば、ご意見をいただきたい。
- 座長 : 調布市ではどのような体験活動を実施しているのか。  
地域の方がどのように参画しているのか把握しているのか。
- 事務局 : 体験活動については現状把握していない。  
校庭の見守り員を地域の方にも対応していただいているとのことであった。
- 委員 : 放課後子供教室事業予算の執行率についてお伺いしたい。
- 事務局 : 昨年度実績においては、予算に対する執行率は9割以上の実績であった。
- 委員 : 毎日実施となる場合、予算が足りないのではないかと。
- 事務局 : 活動日数増と考えられる場合は、予算をあらかじめ確保している。
- 委員 : 調布市のように学童クラブと放課後子供教室を同一の事業者へ委託している場合、どの補助金を活用して実施しているか次回までに参考として知りたい。
- 委員 : 「幅広い地域の人材を活用する」ために、活動に参画してもらう周知はどのようにするか。学校が周知をするのか、事業者が実施するのか。学校が周知をするとなると、学校によって対応が異なる等の懸念もあることを考えた上で決定していただきたい。
- 座長 : 事業者が周知を行うことが可能なのか。  
調布市がどう周知をしているか確認していただきたい。

議題(2) 西東京市放課後子供教室あり方検討委員会中間まとめについて

- 事務局より、資料3「西東京市放課後子供教室のあり方検討委員会 中間報告(案)」に沿って説明。

- 座長 : 事務局に2点伺いたい。中間報告をどのように活用していく見込か。各小学校施設開放運営協議会へのヒアリングではどのような内容について聞き取りを行っているのか。また各委員より追記事項、修正等があればご意見いただきたい。
- 事務局 : 今後の様々な検討において活用していく見込みである。ヒアリング内容については、現状の校庭開放における負担感や課題、学校施設開放運営協議会の体制等についてである。
- 座長 : 資料3の4(2)の中に「地域住民の参画が必要である」ということ、「学習機会提供プログラムも含めた事業を実施する必要がある」という文言があったほうが分かりやすいと思うが追加できるか。
- 事務局 : 文言追加する。
- 委員 : 学童クラブの民間委託数と事業者数を伺いたい。
- 委員 : 8か所、3事業所である。
- 座長 : ヒアリングした結果は共有していただけるか。
- 事務局 : ヒアリング結果を共有し、本委員会の中で議論していただきたいと考えている。
- 委員 : 放課後子供教室の実施場所である学校へはヒアリングをするのか。
- 事務局 : 学校へのヒアリングは現在行っていないが検討する。
- 委員 : 学校へのヒアリングをする場合、タイムシェアは可能なのかということも聞いていただきたい。授業が早く終わる低学年の居場所を6時間目終了まで確保できるのかを確認していただきたい。
- 委員 : 場所のタイムシェアについて否定的に感じている学校もあるので、慎重に進めていただきたい。
- 委員 : 学校の協力が必要不可欠なので、学校とよく話し合い、理解を求めていくことが必要であると思われる。
- 座長 : 学校の反応も本委員会の中で共有いただけると、方向性を決めていく補助資料になるので助かる。
- 委員 : 自身が携わっている放課後子供教室では、本年7月に実施した「西東京市放課後子供教室アンケート調査」の結果から、平日の利用ニーズが高いことを鑑み、学校側へ相談・調整して来年度は平日週5日開催することとなった。

- 座長 : 忌憚のないご意見を頂戴し、感謝する。  
事務局へは、資料3の文言追加をお願いします。

議題（3）その他

- 事務局 : 次回会議における詳細については後日送付する。

次回会議

日時 令和7年11月20日（木）午前10時00分から午前11時30分

場所 イングビル2階第1会議室